



くらたび

Komachi
特別編集



映える景色が
たくさんあるねよ

須坂で老舗と
スイーツを
めぐる旅



ゆっくり
歩きたくなる町
須坂 SUZAKA

町の経済・文化を支える100年超の老舗企業
信州須坂の老舗企業を訪ねて
老舗の魅力と美味スイーツに触れる
須坂よりみちマップ 本町通り&市街地



01 株式会社 小妻屋本店

●創業不詳 須坂市須坂1024 ☎026-245-3802 MAP A-3



9代目当主 牧 孝宣さん

24歳で会社を引き継いで以来、40年以上そば作り一筋。旨いそば作りへの想いは尽きることなく、今も商品開発に心血を注ぐ。趣味はそば店巡りで、純粋なそばの味が楽しめる「もりそば」を頼むのが常。

須坂市民の家庭を支え続けた絶品の乾麺そば

4代前の頃に、ひやむぎを作り始めたのが始まり。「明治の頃、近くに大きな製糸工場があってね。夏の暑い時期に女工さんたちの生産能力が落ちないようにと考えられた食事がひやむぎでした」。先代の頃には卸売業に力を注ぎ、東京をはじめとする県外への販路を確立。「スーパーがなかった時代には、市内の食糧販売店でお米と一緒に麺類を箱売りしていたそうです」。現在は、片手鍋でも茹でられる“手折そば”を主力に展開。レンジで茹で上がるそばも開発中だ。より手軽に、よ

りおいしく。「うちのそばは、独自のブレンドで製粉したそば粉を使っているの、香りと甘みが違うんですよ。ボタン一つで何十トンも生産できる工場ではないので、何か付加価値を付けていかないとね」。



02 株式会社 二葉堂

●創業1804年 須坂市米持591 ☎026-246-0011 MAP G-1



8代目当主 清水基弘さん

2005年の就任以来、アップルバイの専門店を善光寺の仲見世に開業するなど新事業にも積極的に取り組んできた。趣味はマラソン。「健康に気遣いながら、皆さんにも甘いものを楽しんで食べてほしいですね」。

地場産の食材を使ったお菓子で、須坂の魅力を全国に発信

町のお菓子屋として広く親しまれてきた二葉堂だが、その歴史は古く、江戸時代まで遡る。元は、須坂藩主・堀家御用達の菓子屋。明治期に現在の長野市に拠点を移したが、2006年に発祥の地である須坂の町に戻った。「幸せを感じてもらえる菓子作り」という想いは創業以来変わりませんが、お客様の嗜好に合わせて少しずつ味を変えています。たとえば、百年以上つくり続けているカステラは、基本的な作り方は同じでも、卵や砂糖の分量は時代と共に変化させている。「須坂にはブド

ウやリンゴなど素晴らしい食材がたくさんあるので、これからはお菓子を通じて土地の魅力を全国に発信していきたいですね」。地元産リンゴをバウムクーヘンでサンドした「りんご小径」は新たな長野土産として人気を博している。



03 有限会社 山下薬局

●創業1703年 須坂市中町208 ☎026-245-0032 MAP A-3



13代目当主 山下徹也さん

家業を受け継いだのは2010年頃。調剤業務の傍ら、「漢方に対する古臭いイメージを変えたい」「若い人にも漢方の魅力を知ってもらいたい」と、様々なオリジナル商品の開発にも積極的に取り組んでいる。

須坂市民の健康を守り続けて三百余年！

須坂藩お抱えの薬種商として殿様の健康を守っていたほか、財政面でも藩を支えていたという老舗薬局。代々培った漢方薬の知識や技術を今に受け継ぎ、現在は須坂市で唯一漢方調剤ができる薬局として親しまれている。病名のつかない不調を改善できるのも漢方の魅力。漢方や薬膳の知識を応用したカレースパイサや須坂の伝統野菜を使ったゴボウ茶といったオリジナル商品も展開していて、近々、自家製ラー油キットの販売もスタートさせる。百年ほど前は、生活用品などの販売も行

い、ドラッグストアの走りのようなこともしていたそう。「我が身のほどを知れ」という社訓を守ってきたことが長く続けてこられた秘訣」と謙遜するが、時代の風を読む先見の明が300年という長い歴史を支えてきたに違いない。



土蔵造りの旧製糸家の建物や大壁造りの商屋など、古い町並みが残る(本町通り)

須坂の地に根付くこと百年以上！ 町の発展に力を尽くす老舗企業

日本有数の製糸の町として栄えた須坂の町の歴史って？ この町で百年続く老舗が今に受け継ぐ想いとは？「信州須坂老舗百年会」の本藤会長にお話を伺いました。



現在の上中町文差点付近から中町を望む様子。山丸大運動会で賑わう様子(写真提供/須坂市立博物館)

製糸業の町から電子産業の町へ
百年前、製糸業で発展を遂げた須坂の町は、栄華を極めていました。有力者たちが集い、民間の製糸工場を設立。土蔵造りの工場や蔵があちこちに建ち、たくさんの方工さんが働いていたといえます。「製糸業で栄えたことで、多くの労働者が町に集まりました。大勢の人が集まれば商店や飲食店が栄える。当時は、製糸業を営む旦那衆が通う料亭がたくさんあったと聞いています(本藤会長)。人口が増えたことで、味噌や醤油の需要も増えました。味噌の町・須坂、

のルーツはこんなところにもつながっています。その後、昭和恐慌と共に製糸業は衰退するも、製糸工場の跡地に富士通が工場を建てたことで、下請け企業が続々と誕生。今度は電子産業の町へと変遷を遂げていきました。百年会の会員にも、製糸業から業態変更をした企業はとて多いです。



老舗の先代たちが愛した小路が今もなお大切に守られている(青木小路)

「人口5万人程度の町で、この老舗企業の数はとても多い」と、本藤会長も胸を張ります。味噌蔵に酒蔵、菓子店に呉服店、薬局など、業態を変えずに今も続く店舗がたくさん残る須坂の町。「老舗巡りをきっかけに、歴史を知ってもらえるところ嬉しいですね。町の象徴でもある蔵は、製糸業で栄えた時代に建てられたまゆ蔵。あちこちに散らばった歴史を探索してまわるのも須坂散策の魅力です。堀家・須坂藩1万石の館町として栄えた歴史もあり、歴史好きの人もきっと楽しめることでしょう」。

老舗を巡りながら町の歴史を紐解く
「地域の人が知らない老舗企業にも光を当てて、町を元気にしていきたい」という想いから平成25年に発足した「信州須坂老舗百年会」。現在、正会員に登録している百年企業は26社あり、もうすぐ創業百年を迎える準会員も3社あります。「人口5万人程度の町で、この老舗企業の数はとても多い」と、本藤会長も胸を張ります。味噌蔵に酒蔵、菓子店に呉服店、薬局など、業態を変えずに今も続く店舗がたくさん残る須坂の町。「老舗巡りをきっかけに、歴史を知ってもらえるところ嬉しいですね。町の象徴でもある蔵は、製糸業で栄えた時代に建てられたまゆ蔵。あちこちに散らばった歴史を探索してまわるのも須坂散策の魅力です。堀家・須坂藩1万石の館町として栄えた歴史もあり、歴史好きの人もきっと楽しめることでしょう」。



「信州須坂老舗百年会」の発起人で、会長を務める本藤浩史さん。1869年に創業した老舗の味噌蔵「糀屋本藤醸造舗」の4代目当主でもある

信州須坂老舗百年会 加盟企業一覧

〔相談役〕 テクノエクセル(株)	〔幹事〕 (株)酒井商会	〔会 員〕 (有)ちようちんや
〔相談役〕 (有)盛進堂製菓舗	〔幹事〕 岩崎木材(株)	〔会 員〕 (株)綿幸本店
〔相談役〕 マツナガ建設(株)	〔幹事〕 (株)二葉堂	〔会 員〕 (株)前田鉄工所
〔相談役〕 (株)ニットー	〔幹事〕 (有)松風	〔会 員〕 (有)山下薬局
〔会 長〕 (有)糀屋本藤醸造舗	〔監事〕 キタザワ美容室	〔会 員〕 (株)長印須坂青果市場
〔副会長〕 (資)カミヤ長張商店	〔監事〕 綿幸(株)	〔会 員〕 コモリ餅店
〔副会長〕 (株)小妻屋本店	〔会 員〕 (有)塩屋醸造	〔準会員〕 (株)仙仁温泉岩の湯
〔会 計〕 (資)能登忠	〔会 員〕 (株)遠藤酒造場	〔準会員〕 (有)丸源鋸工場
〔事務局〕 (株)関木工所	〔会 員〕 タンサン・ツチャ	〔準会員〕 廣田産業(株)
〔事務局〕 スミサカ電機(株)	〔会 員〕 土屋印店	

令和2年10月現在



国産原料、木桶仕込みの天然醸造を貫く味噌蔵「糀屋本藤醸造舗」。糀カフェの開業や新名物の特産品・八丁鐘塚みそケーキの発案など新たな試みにも余念がない。写真は創業当時の店の様子

3 盛進堂

和洋の銘菓がそろう町のおやつ処
ハチミツ入りの生地でこし餡と小布施菓を包んだ「栗中華」(238円)や、シナモン風味の生地でリンゴとサツマイモクリームをサンドした「りんごどら焼」(194円)など、名物が多数。ナガノパープルとシャインマスカットの果肉が入ったふわふわの「ロールケーキ」(1切れ270円)は、秋だけの味!
【駅前店】須坂市須坂1272 ☎026-245-0385 ①7:00~20:00 ②なし
【中町店】須坂市上中町158 ☎026-245-0315 ①9:00~17:00 ②なし

MAP A-2

MAP B-3



果汁入りのクリームも絶品!



MAP B-3

4 寿し・割烹 松風

路地裏に佇む、須坂の奥座敷
明治35(1902)年創業の老舗寿司店。会席料理も得意としていて、接待やお祝い、法事の席で利用する人も多い。一方で、老舗の味を手軽に楽しめる平日限定のランチも好評。ちらし寿司やばらちらし、豚角煮など、8種の丼の中から2つ選べる「關之屋 小井ぶり」(1,815円)は、ファンの多いお得な一品だ。
☎須坂市本上町41 ☎026-245-0164
①11:30~14:00(13:00LO)、17:30~21:00(20:00LO) ※要予約
②火曜(祝日の場合は営業)

2つの味が楽しめる歌謡ランチ



限定生産の生原酒シリーズ!



5 遠藤酒造場

新ブランドにも果敢に挑む老舗酒蔵
元治元(1864)年に須坂藩主御用達の酒蔵として創業。フラッグシップである「深流」を筆頭に、生酒や生原酒など、できたての味で魅せる「直虎」、替星のごとくすっきり後味が消えていく「替」など、個性あふれるラインがそろった。約30種類の味を無料で飲み比べできる試飲コーナーも大人気。
☎須坂市須坂29 ☎026-245-0117
①8:30~17:30 ②1/1-2
※試飲コーナーは新型コロナウイルス感染防止のため、現在サービスを休止中



6 旧小田切家住宅

製糸業で栄えた町の歴史を今に伝える
須坂の製糸業発展に貢献した豪商・小田切家の旧邸宅を一般公開。広々とした座敷や美しい組子細工が施された欄間などから、その繁栄ぶりを知ることができる。3種類の樹木が絡み合い、1本の木のようになった「むすびの樹」に願い事をすれば、御縁を大切に育てた小田切家のパワーにあやかれるかも。
☎須坂市須坂423-1 ☎026-246-2220
①9:00~17:00、1~2月は9:30~16:30(入館は30分前まで) ②木曜



趣のある旧家の縁側でひと休み

良い出会いがありますようにパンパン!

せんべいでか!



本町通り編

XXX Take a walk XXX

歩いても楽しい街

須坂駅から徒歩で回れる町の中心部には老舗が点在。見学や体験できるスポットも多いので、町の歴史をもっと知ることができるかも。おいしい老舗グルメも盛りだくさん!



歴史のふる〜い墨坂神社にも行ってきまよ!



蔵の町ならではの「おさんぽ道」



2 綿幸

江戸期の土蔵を無料で一般開放
町の中心で170年以上にわたって呉服店を営む。現在は二連の店蔵から成り、店舗隣りの土蔵を一般開放している。1階はランプや陶器、絵画などが並ぶギャラリー「綿幸サロン」、2階は店を営む中野家に代々伝わる貴重な品々を展示する「蔵の美術館」。個人の所蔵とは思えない多彩な展示物に驚かされる。
☎須坂市中町218 ☎026-245-0218 ①9:30~17:00 ②水曜



1 信州味噌醤油醸造元 塩屋醸造

手仕込みを貫く天然醸造の蔵元
木桶で仕込む味噌や人の手で丁寧に搾る醤油など、江戸時代の製法を今に受け継ぐ。安曇野産の大豆や米を使うなど、材料も厳選。複雑な味わいの「玉造りみそ」(637円〜)や地元産ハチミツ入りの「蜂蜜味噌」(756円)など、個性豊かな味がそろった。予約をすれば味噌蔵の見学も可能で、味噌汁や味噌漬けもふるまわれる。
☎須坂市新町537 ☎026-245-0029 ①9:00~18:00 ②不定休



自慢の味噌? お好みの味はどれ?



自転車でふらり旅

須坂駅を起点に扇状地のよう
に広がる須坂市は、郊外にも
美術館や動物園など見と
ころがいっぱい！ちよつと足
をのびして、老舗の美味と名
所めぐりへ。e-bikeの
レンタルもあるので、散策も
爽快に楽しめます。



寄り道したくなるお店や施設がいっぱい！



4 コモリ餅店

毎日完売！
100年変わらぬ名物団子
名物は大正8(1919)年の創業以来同じ味を
守る串団子。石臼で自家製粉した上新粉で
つくる団子(85円〜)はもちもち魅惑的な食
感で、醤油が効いたみたらしのタレや艶や
かなこし餡に、香ばしい焼き目がアクセ
ントを添える。須坂産のフルーツを使ったゆ
べし(175円)やブッセ(145円)も自信作！
☎須坂市北横町1316-11 ☎026-245-0528
◎9:00〜17:00(売り切れ次第終了)
☎不定休

フルーツを
使ったお菓子
も豊富

いい感じの
レトロな喫茶店
みつけ！



休憩所
「まちの駅」で
今日のプランを
考える



レンタサイクルは
こちらで!!

【貸し出し場所】
●須坂市観光協会
●蔵のまち観光交流センター
【料金】
●e-bike
(電動アシスト付き自転車)
4時間まで...1,000円
4時間以上...1,500円
2日間...2,500円
3日間...3,000円
●自転車
1日...500円
2日間...800円
3日間...1,500円



写真の「まち小路」のよう
に、須坂市街地には「小
路」がたくさん！歩いて
迷って、古の時にタイムス
リップしてみよう！



2 田中本家博物館

豪商の生活を今に伝える博物館
穀物や菜種油などの商売で財を成した江戸時代の
豪商・田中家に伝わる品々を公開。陶磁器や漆器
などの美術品をはじめ、着物や教育玩具など、そ
の所蔵数は3万点にも及び、須坂藩をも上回った
といわれる財力と豪華さがうかがい知ることができ
る。約3000坪もある豪壮な屋敷構えも圧巻。
☎須坂市親町476 ☎026-248-8008
◎11:30〜15:30、土日祝10:00〜16:00(入館は閉館
30分前まで)※季節によって変動あり ☎火曜(祝
日の場合は翌日)、展示替え等による臨時休館あり



3 須坂アートパーク

文化と自然を融合させた芸術公園
「小池千波コレクション 世界の民俗人形博物館」
「須坂版画美術館・平塚運一版画美術館」歴史的建
物園の3施設から成る芸術公園。6000体の人形
を並べた30段飾りのひな祭りイベントや武者130
体が並ぶ15段家財の昌蒲の節句イベントなど、
季節の催しも充実している。
☎須坂市野辺1386-8 ☎026-245-2340(世界の民
俗人形博物館) ◎9:00〜17:00 ☎水曜(祝日
の場合は開館)、年末年始(12/29〜1/3)



1 須坂市動物園

愛らしい姿に、ほっこり癒やされる
アカカンガルーやベンガルトラなど約50種260頭の動物を飼
育展示。動物との距離が近いのも魅力で、生き生きとした
姿を間近で見ることができる。動物ガイドやエサやりなど
の体験も充実。冬の風物詩「カピバラ温泉 華の湯」ではお風
呂ではほっこり温まるカピバラに癒やされる人が続出！
☎須坂市臥竜2-4-8
☎026-245-1770(臥竜公園管理事務所)
◎9:00〜16:45(入園は16:00まで)
☎月曜(祝日の場合は翌日)、
12/29〜12/31※4月は無休
※新型コロナウイルス感染防止のため、
イベントを縮小中



ワタシは
ボクシングは
しませ〜ん

5 割烹 能登忠

プライベート空間で過ごす
至福のひと時
お祝い事や法事、大切な接待などでも使わ
れている老舗割烹。地酒やワインなど、頼
んだ酒に合わせて料理内容を絶妙に変える
など、きめ細かな対応でもてなしてくれる。
ランチの人気は14種類の料理が盛り込ま
れた「花籠」(3,300円)。完全個室なので、
のんびり過ごしていく人が多いそう。
☎須坂市須坂304 ☎026-245-0053
◎11:00〜14:00、17:00〜21:00(要予約)
☎不定休



運動になるし
古い町並みも
楽しめる!



臥竜公園名物の「おでん」でほっと一息!



6 臥竜公園

紅葉も桜も見事!
一年を通じて憩える総合公園
設計は、「明治神宮の森」や「東京日比谷公
園」「小諸懐古園」などを手掛けた日本初
の林学博士・本多静六。「須坂市動物園」やス
ポーツ施設などもある総合公園で、市民
憩いの場所となっている。県内有数の桜の
名所でもあり、春には竜ヶ池周辺に植えら
れた23種約160本の桜が次々に咲き競う。
☎須坂市臥竜2-4-8
☎026-245-1770(臥竜公園管理事務所)
◎終日開放



須坂の逸品を見つけました

須坂メイドに魅せられて

時代と共に磨かれ、一つひとつ丁寧につくられた老舗の味や
豊かな自然が育んだフルーツや伝統野菜、その加工品など、
須坂の風土が生み出した自慢の逸品をご紹介します。



12
遠藤酒造場の 慧 シブハラ
720ml 1,375円～

慧星のように後味が消えていく、すっきりとした味わいの新シリーズ。香りがよく、ワイングラスで楽しむのもいい。純米大吟醸、純米吟醸、純米酒のほか全国の銘柄酒まで仕込んだ限定ラインも展開。



11
信州須坂みそ 五つ蔵
(500g×5品)
3,240円

須坂市に点在する5つの味噌蔵「榎本藤醸造場」「塩屋醸造」「千日みそ」「土屋味噌醤油醸造場」「中村醸造場」の味噌を詰め合わせに。五蔵の味比べができるので、お気に入りの味を見つけよう。



10
信州須坂
フルーツエール(330ml)
1本 605円～

須坂で育った果物を須坂の名水で仕込んでつくるフルーツエール(発泡酒)。使用するリンゴ(ふじ)やモモ(川中島白桃)、ブドウ(巨峰・ナガノパープル)、カシスはすべて須坂市産。全6種を展開。



09
スムージー
ドレッシング(200ml)
1本 640円

須坂産の果物と野菜でつくる地産地消ドレッシング。内容の50%は野菜と果物、食塩も添加物不使用という健康的なもので、女性にもおすすめ。サラダやパスタなど、さまざまな料理に活用できる。



16
盛進堂の栗中華 せいしんどう
1個 238円

“千代香”という名の奥女中が須坂藩主に献上したといわれる饅頭がモチーフ。ハチミツや卵をたっぷり使ったつくる半月型の生地は甘くてしっとり。中には、餡に包まれた大きな一粒栗が忍ばせてある。



15
みそすき丼

須坂みそで仕立てた割り下と伝統野菜・村山早生牛蒡を使ったご当地丼。製糸業で町が栄えた大正期に、県外から来た糸商人にふるまったとされる“みそ味のすき焼き”をヒントに生み出された。



14
臥竜公園の黒おでん かりゅうこうえん

玉子やちくわ、こんにゃく、さつま揚げなどのおなじみの具に、しっかり出汁をしみこませてつくる名物おでん。園内のあちこちの売店で販売されている。串に刺さっているの、食べ歩きにも◎!



13
楠わいなりのワイン くすわ

目指しているのは「高品質で優しい、日本の食事にもよく合うワイン」。農業や化学肥料の使用量を抑え、除草剤を使用しない草生や栽培を取り入れるなど、健康的なブドウづくりに心血を注いでいる。



04
ブルーベリー

早生種から晩生種までさまざまな品種を栽培。ブルーベリー狩りを実施しているところもあり、思う存分味わうことができる。旬は6月中旬～8月上旬(品種によって異なる)。



03
ワッサー

白桃とネクタリンの自然交配で生まれた須坂市生まれのサマーフルーツ。硬くジューシーな実は、桃の甘みとネクタリンの酸味を合わせ持つ爽やかな味。旬は7月下旬～8月下旬(品種によって異なる)。



02
ナガノパープル

須坂市で誕生した大粒の高級ブドウ。巨峰に勝るとも劣らない糖度ながら爽やかな甘さが特徴で、種がなく皮まで丸ごと食べられる手軽さも受けている。旬は9月上旬～9月中旬。



01
シャインマスカット

爽やかで上品な香りとジューシーな果肉が特徴の人気品種。酸味は少なめで、ブドウの中でも特に甘み強いとされる。皮ごと食べられて種もない、手軽さも人気の秘密。旬は9月中旬～10月中旬。

手軽に購入できる
オンラインショップ

須坂市の特産品をいつでもどこでも購入できるオンラインショップを利用しよう。カード支払いはもちろん、コンビニ決済や携帯キャリア決済にも対応。

問い合わせ
須坂市観光協会
☎026-215-2225

須坂市観光協会



19
綿幸の信州須坂
手ぬぐい歳時記
1枚 715円～

須坂の史跡や歳時記をモチーフにしたオリジナル手ぬぐい。須坂の蔵の町並みが描かれた「信州須坂めぐり」やNHK大河ドラマ「真田丸」のオープニングにも登場した「米子大瀑布」など全7種類を展開。



18
丸源鋸工場の
大地プレミアム
7寸 3,630円～

日本刀と同じく玉鋼を炭で焼き入れし、高速で玉打ちをして製造。全国の果樹農家に愛用されている本格仕様のノコギリで、切れ味だけでなく、耐サビ性、耐久性にも優れている。庭木の剪定にも最適。



17
パウンドケーキ
「八丁鎧塚」

須坂市にある「八丁鎧塚古墳」にちなんで考案されたご当地ケーキ。レシピは、人気パティシエの鎧塚俊彦氏の監修によるもので、須坂市産の味噌とプルーン、クルミがたっぷり使われている。



08
村山早生牛蒡

信州の伝統野菜。一般的なゴボウに比べてアクが少なく、太くて白のが特徴。須坂市名物の「みそすき丼」にも使われている。きんぴらや煮物、天ぷらや味噌漬けにしても美味。旬は8月下旬～12月下旬。



07
沼目越瓜

信州の伝統野菜。長さは30cmほどで、果皮は淡い緑色で艶がある。果肉が厚くやわらかく漬け物にぴったり。粕漬や味噌漬けなどが市内各地で販売されている。旬は7月中旬～9月上旬。



06
八町きゅうり

信州の伝統野菜。ずんぐりむっくりとした形状で、皮が薄く肉厚。種が少ないのも特徴で、歯切れがよく香りも強い。須坂名物の味噌漬けて食べるもよし、漬け物にするもよし。旬は6月下旬～9月上旬。



05
プルーン

ジューシーで濃厚な甘酸っぱさが特徴の隠れた特産品。皮がパリッとしていて甘い味、皮がやわらかく甘酸っぱい味など、お気に入りの品種を探そう。旬は7月中旬～9月下旬(品種によって異なる)。

須坂の楽しさに触れる場所

おすすめ立ち寄りスポット

眺望抜群、自然豊かな近隣の山々でトレッキングや自然観察を楽しんだり、
史跡やミュージアムめぐりを楽しんだ後は、温泉でリフレッシュ。
1日ゆっくり、のんびり過ごせるのが、須坂の町の魅力！



八丁鎧塚古墳

はっちょうよろいづかごふん

河原石を積み上げた「積石塚」と呼ばれる6基の古墳群から成り、鮎川の段丘上に点在。特に県史跡に指定されている1号・2号墳は径25.5m、高さ3mを超え、積石塚としては東日本最大・最古級を誇る。

📍1号墳：須坂市八町285
☎026-215-2225(須坂市観光協会)
🕒終日開放 🗺なし 📖見学料：無料



ふれあい館 まゆぐら

ふれあいかん まゆぐら

明治期に建てられた三階建てのまゆ蔵をリノベーション。須坂の養蚕・製糸業を支えた器械道具や資料を展示。須坂軸のコスターやまゆ人形などの土産物も販売されている。館内には休憩スペースもあり。

📍須坂市須坂387-2 ☎026-248-6225
🕒9:30～17:00、11～2月10:00～16:00、3月10:00～17:00
🗺12/29～1/3 📖入館料：無料



坂田山共生の森

さかたやまきょうせいのもり

須坂駅から東へ約1.5kmの場所に位置する、市街地に最も近い標高871mの里山。森林内には遊歩道や休憩所などが整備されているので、気軽に自然観察やウォーキングが楽しめる。見晴らしもよく、春は桜も美しい。

📍須坂市坂田
☎026-215-2225(須坂市観光協会)



岡信孝コレクション 須坂クラシック美術館

おかのふたかくれくしょん すざかクラシックびじゅつかん

須坂藩御用達の呉服商・牧家の屋敷を美術館に。日本画家の岡信孝画伯から寄贈されたコレクション約2,000点を中心に、大正末期から昭和初期にかけての着物や帯、浴衣の染型、大正ガラスなどの古民芸を展示している。

📍須坂市須坂371-6 ☎026-246-6474 🕒9:00～17:00、1・2月9:30～16:30 🗺木曜(祝日の場合は開館)、12/29～1/3 📖入館料：大人300円、中学生以下無料



小池千枝コレクション 世界の民俗人形博物館

こいけちえくれくしょん せかいのみんそくにんぎょうはくぶつかん

高田賢三、コシノヒロコ・ジュンコ姉妹や山本耀司、松田光弘など、名立たるデザイナーを育てた小池千枝氏が寄贈した世界100数カ国の民俗人形およそ3,000体を所蔵。貴重な服飾資料も所蔵・展示している。

📍須坂市野辺1367-1 須坂アートパーク内 ☎026-245-2340
🕒9:00～17:00(入館は16:30まで) 🗺水曜(祝日の場合は開館)、12/29～1/3 📖入館料：大人300円、中学生以下無料



須坂版画美術館

すざかはんがびじゅつかん

須坂市出身の版画家・小林朝治の版画作品と、朝治と交流のあった全国の版画家たちの作品や版画同人誌を多数収蔵。大正期から昭和初期の版画作品を軸に、近代以降の版画作品などの魅力を伝える。

📍須坂市野辺1386-8 須坂アートパーク内 ☎026-248-6633
🕒9:00～17:00(入館は16:30まで) 🗺水曜(祝日の場合は開館)、12/29～1/3 📖入館料：大人300円、中学生以下無料



臥竜公園

がりゅうこうえん

「さくら名所100選」に選ばれている花見スポットで、初夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色も美しい。国内の竜ヶ池でボートに乗ったり、臥竜山中を散策したり、のんびり過ごせる須坂市民憩いの場所となっている。

📍須坂市臥竜2-4-8
☎026-245-1770(臥竜公園管理事務所)
🕒終日開放 🗺なし 📖入園料：無料



五味池破風高原自然園

ごみいけはぶふうげんしぜんえん

県内最大級のレンゲツツジの群生地。見頃を迎える6月中旬から下旬は、100万株ものレンゲツツジが咲き競い、高原一帯が美しいオレンジ色で彩られる。見晴らしも見事で、北信五岳や北アルプスの眺めも格別。

📍須坂市豊丘町
☎026-215-2225(須坂市観光協会)



峰の原高原

みねのはらこうげん

根子岳・四阿山の西山麓に位置する標高約1,500～1,600mのさわやかな高原。周辺には、ペンションやロッジなどの宿泊施設が40軒ほど点在していて、四季を通じてスポーツやレジャーを楽しむことができる。

📍須坂市峰の原高原
☎090-4949-3080(峰の原高原観光協会)



須坂温泉 古城荘

すざかおんせん こうじょう

日帰り利用もできる温泉宿で、北信五岳を臨む岩露天や木の湯もりを感じる内湯など5つの湯船が用意されている。泉質は肌に優しい弱アルカリ性単純温泉。疲労回復をはじめ打ち身、筋肉痛、関節痛なども癒してくれる。

📍須坂市日湯5414 ☎026-245-1460 🕒10:00～20:00(最終受付) 🗺なし 📖日帰り入浴料：大人500円、小学生300円、未就学児無料 宿泊：1泊2食8,740円～

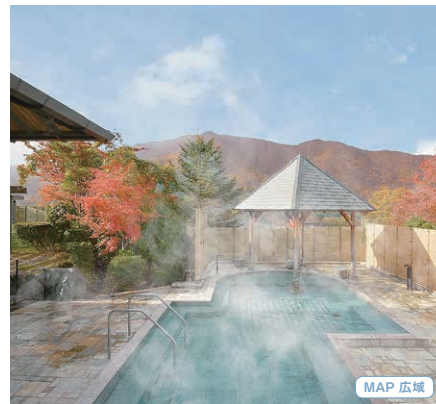


田中本家博物館

たなかほんけはくぶつかん

北信濃屈指の豪商・田中家に残された衣装や漆器、陶磁器、玩具などを展示。その財力は須坂藩を上回ったともいわれ、約3,000坪の豪壮な屋敷構えからもその繁栄ぶりがうかがえる。池泉廻遊式庭園も必見。

📍須坂市穀町476 ☎026-248-8008 🕒11:00～15:30、土日祝10:00～16:00(季節により変動あり) 🗺火曜(展示替えなどによる臨時休館あり) 📖入館料：大人900円、中学生350円、小学生250円※企画展によって変動あり



関谷温泉 湯っ蔵んど

せきやおんせん 湯っ蔵んど

ジャグジーや寝湯、流水露天風呂など6種類9つの多彩な風呂が楽しめる日帰り入浴施設。食事処やペーカリーのおいしさにも定評があり、手打ちそばや石窯焼きピッツァ、牛乳パンなど名物も多数！

📍須坂市仁礼7 ☎026-248-6868
🕒10:00～22:00(最終受付21:00) 🗺不定休
📖入館料：大人600円、小学生300円(平日17:00～大人400円、小学生200円)、未就学児無料



須坂市動物園

すざかしどうぶつえん

臥竜公園内にあり、人気者のアカカンガルーやカピバラをはじめ、約50種・260頭の動物を飼育展示。園内には大型遊具やバッテリーカー、D51(デゴイチ)の子ども電車なども用意されているので、一日楽しむことができる。

📍須坂市臥竜2-4-8 ☎026-245-1770(臥竜公園管理事務所)
🕒9:00～16:45(入園は16:00まで) 🗺月曜(祝日の場合は翌日)12/29～12/31、4月は無休 📖入園料：一般200円、小中学生70円、未就学児無料



米子大瀑布

よなごたいはくふ

「米子大瀑布」は落差89mの「不動滝」と落差82mの「権現滝」のふたつの滝から成る夫婦滝の総称。「日本の滝百選」にも選ばれている名勝で、周囲の山肌が色づく秋の景色も素晴らしい。紅葉の見頃は例年10月中旬頃。

📍須坂市米子 ☎026-215-2225(須坂市観光協会)
🕒終日開放 🗺11月中旬～4月下旬は閉鎖 📖見学料：無料 🗺令和元年東日本台風の影響でアクセス道路が崩落しているため、現在は見学不可。復旧次第開放



根子岳・四阿山

ねこだけ・あずまやさん

須坂市と上田市との境にそびえるふたつの名山。「花の百名山」に選ばれている美しき根子岳(標高2,207m)と、「日本百名山」に数えられている眺望抜群の四阿山(標高2,354m)は登山やトレッキングにぴったり。

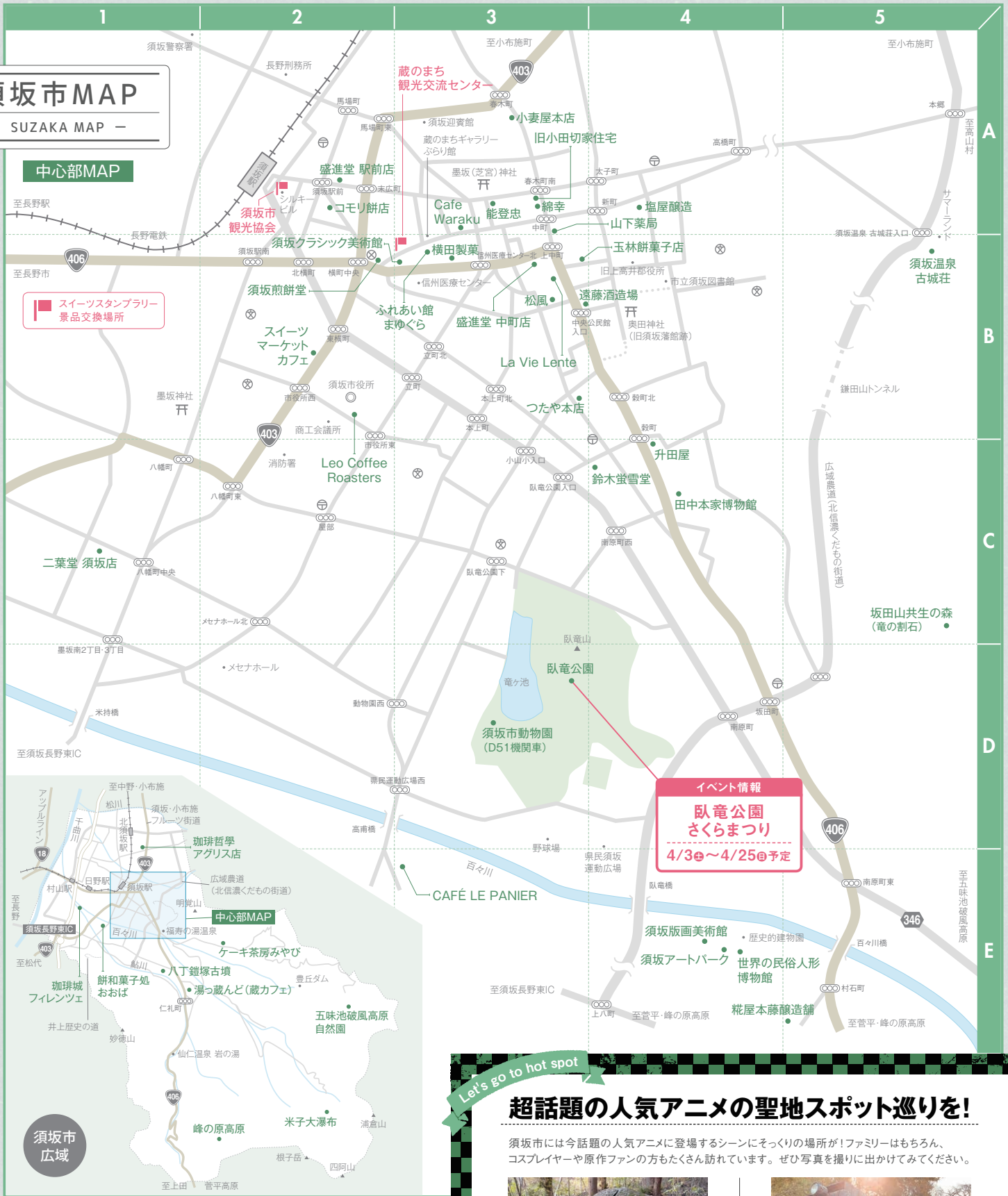
📍根子岳：上田市真田町長 四阿山：上田市田代
☎090-4949-3080(峰の原高原観光協会)

※新型コロナウイルス感染症に関連した各施設の対応・対策により、営業内容が一時的に変更・休止となる場合がございます。最新情報は施設・店舗にご確認いただくとともに、お出かけの際は感染対策にご配慮をお願いします。

須坂市MAP

- SUZAKA MAP -

中心部MAP



イベント情報
臥竜公園 さくらまつり
 4/3(土)~4/25(日)予定

Let's go to hot spot

超話題の人気アニメの聖地スポット巡りを!

須坂市には今話題の人気アニメに登場するシーンにそっくりの場所が!ファミリーはもちろん、コスプレイヤーや原作ファンの方もたくさん訪れています。ぜひ写真を撮りに出かけてみてください。



竜の割石 (坂田山共生の森)



D51機関車 (須坂市動物園)

須坂市観光協会

〒382-0077 長野県須坂市大字須坂1295-1
 mail : info@suzaka-kankokyokai.jp
 http://www.suzaka-kankokyokai.jp/



TEL : 026-215-2225
 FAX : 026-215-2226



発行 老舗とスイーツで須坂を元気にする会

※掲載の情報は2020年10月10日現在のものです。発行後に、料金、営業時間、定休日、メニューなどの営業内容が変更になることがあります。予めご了承ください。 ※新型コロナウイルス感染症に関連した各施設の対応・対策により、営業内容が一時的に変更・休止となる場合があります。最新情報は施設・店舗にご確認いただくとともに、お出かけの際は感染対策にご配慮をお願いします。